

## 令和7年度 地域を志向した研究 成果報告書

テーマ		孫育て支援を通じたシニア世代が交流する機会の創出			
研究組織	代表者	所属・職	看護学部・助教	氏名	大和田 裕美
	連携研究者	所属・職	氏名	所属・職	氏名
		看護学部・助教	池田麻左子	看護学部・助教	高橋明味
	研究者				
	研究者				
研究の目的、内容、方法、研究成果、今後の課題等		<p>【研究の目的】 県中部2市（静岡市・藤枝市）において孫育てに関する交流会を企画・開催し、シニア世代の交流機会を創出するとともに参加者の意識や知識の変化からその効果を検討し、よりよい孫育て支援プログラムにつなげる。</p> <p>【方法】 県中部2市（静岡市・藤枝市）において孫育てに関わるシニア世代を対象とした交流会を企画・開催し、参加者へのヒアリング、アンケートから、他の祖父母との交流や育児に関する情報提供の効果を検討する。</p> <p>【研究成果】 交流会「孫育てカフェ～語ろう ジーじ・ばーばの孫育て～」を藤枝市（開催日：令和7年10月11日）および静岡市（開催日：令和8年1月24日）で開催した。参加者は、藤枝市会場8名、静岡市会場5名であった。藤枝市会場には、子育て中の親世代の参加もあった。交流会では、孫育てと最近の子育てに関する講話、孫育てに関する話し合い、子どもの発達と安全に関する講話と一次救命処置体験を実施した。孫育てに関する話し合いでは大変活発な意見交換がなされ、講話や体験では真剣な表情で取り組む様子がみられた。交流会後アンケートでは、参加者のほぼ全員が全ての内容について「これからの孫育てに役立つ」と回答し、全員が「また参加したい」と回答した。さらに、他市での開催を望む意見や子育て中の親世代の参加者からの肯定的な意見もあった。</p> <p>【今後の課題】 本研究の成果から、1.孫育てに関わる祖父母が交流し、子育てに関する適切な情報を得ることのできる交流会を継続的に開催する、2.祖父母だけでなく、これから祖父母となる人や子育て中の親、これから親になる若者世代など多様な背景の参加者が意見を交換できる機会を設ける、3.シニア世代にとって身近で参加しやすい場所・方法で交流会を実施する必要性が示唆された。</p>			

※別途研究成果資料を添付する。

令和 年 月 日提出